

施策評価シート【分野別施策】

施策名			関係部				
2-②	健康づくりを推進する		健康・こども部、学校教育部、市民病院				
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画 策定時	実績値				目標値
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
がん検診の受診率	%	14.3	15.3	15.2			16.5
特定健康診査（こくほの健診）の受診率	%	31.7	33.0	33.0 （速報値）			39.0
関連事業							
○健康増進事業○特定健診・特定保健指導事業○高度医療器械等整備事業○災害時医療提供推進事業○市民病院整備事業○食に関する指導事業○学校給食地場産野菜等使用推進事業							
決算額							
	28年度	29年度	30年度	31年度			
事業費（千円）	2,327,484						
執行率（%）	65.26						
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
●パソコンやスマホで簡単にがんリスクがチェックできる「簡易がんチェックシステム」の導入や講演会、パネル展示により、正しい健康意識やがんへの理解を深めるとともに、乳幼児連れで安心してがん検診を受診できるよう、保育も併せた集団検診を実施するなど受診しやすい環境を整備しました。また、40歳以上の国民健康保険被保険者に特定健康診査・人間ドックを実施しました。 ●市民病院において、新棟（現新館）での診療開始に当たり、必要不可欠な高度医療器械等を整備したことで、良質な医療を提供しました。また、北棟（現本館）改修工事（全3期工事）の第1期が完了し、第2期工事に着手するとともに、一部の機能移転を完了しました。このほか、災害対応医療訓練を実施するとともに、国や県が主催する訓練にも参加しました。 ●各学校において、食教育推進担当教員や栄養教諭等が連携して、食に関する指導を行うことで、児童・生徒の望ましい食習慣の習得につながりました。また、地元の農水産物を使用するよう努め、安心・安全な給食の提供を行いました。							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
●がん検診や特定健康診査の受診率を向上させるために新しい受診勧奨や検診方法、一部項目の対象年齢の見直しが必要です。 ●市民病院において、先進の医療水準を確保するとともに、防災意識を高める必要があります。また、南棟（現南館）解体工事後に進める敷地内外の外構工事において、周辺環境と病院機能への影響を最小限にすることが必要です。 ●学校給食において、地域の食文化に触れる機会を提供するとともに、栄養指導の精度を維持していく必要があります。	●生活習慣病の発症予防やがん予防を含めた重症化予防のための普及啓発を行うとともに、更に受診しやすい環境づくりを進めます。また、未受診者への対応について、機会を捉えた意識づけなど、引き続き検討します。 ●地域に根差した医療環境を整備するため、高度医療器械等を厳選して導入するとともに、新たな防災機能を踏まえた訓練を検討し、地域住民も参加する実践的な災害対応訓練等を実施します。また、外構工事においては、周辺住民や院内への周知、施工者との調整を綿密に行います。 ●正しい食事のあり方や望ましい食生活を身につけてもらうため、食育ネットワークの充実を図ります。また、栄養士研修会等を充実させます。